

東京ニューイヤーハーフマラソン



エントリー9000人

今年も大盛況



◆ハーフの部 上位入賞者◆

▼男子総合

① 藤山 一輝 (青学大)	1 時間 25 分 59 秒
② 黒田 然 (青学大)	1 : 3 : 5
③ 鈴木 耕太郎 (中大)	1 : 3 : 24

▼女子総合

① 高野 温菜 (PTC)	1 時間 16 分 56 秒
② ジュンガ・キャザリン	1 : 17 : 48
③ 大淵 芽里	1 : 17 : 51

新井康太さん(52)「写真裏」は1時間23分24秒でゴール。10キロ4分弱のペースを守ってベストが出た。10時半過ぎ、ハーフの部のランナーたちが続々と帰ってきた。折り返し後の追い風を利用し、自己ベストを達成する人が目立った。

気分走快!! ランナーの新年会!!



荒川河川敷を走るハーフの部のランナー。先頭集団は青学大や東洋大、中大などの選手たち。右はハーフの部のスタート前、ステージで「ネコネコ」の機を披露するランナー(中央、カメラ・いすれも古川剛伊)。

ペースを守ってベストが出た。10時半過ぎ、ハーフの部のランナーたちが続々と帰ってきた。折り返し後の追い風を利用し、自己ベストを達成する人が目立った。

松山さん。昨秋から月間300キロ以上走り込んできた。しかし、この日は前半を飛ばし過ぎたせいで後半に失速。またまた練習不足ですね。反省しきりだった。

丸山知英さん(54)「写真裏」は1時間38分4秒でゴール。10キロ4分弱のペースを守ってベストが出た。10時半過ぎ、ハーフの部のランナーたちが続々と帰ってきた。折り返し後の追い風を利用し、自己ベストを達成する人が目立った。

新・前半を4分ペースで押し、後半5分ペースでこらえた。振り返った。走歴6年目の丸山さんは、今月末の勝田、3月の東京マラソンでの3時間30分切りを目指し、12月の走行距離は340キロ。勝田で最初の勝負をかけるので、今日は限界を超えるつもりで走ったと意欲的だった。

実業団&箱根駅伝出場校も

強風のなか自己ベスト続々更新

修士論文を執筆中 猫ひろし納得完走

ゲストランナーの猫ひろし(48)がハーフの部を1時間12分4秒で完走し、「ほぼ設定通りにいった。幸せで〜」とこ機嫌。2年前から通う順大大学院のスポーツ健康科学研究科は3月に卒業予定で、「熟練ランナーの競技力向上」というタイトルの論文執筆に追われる毎日とか。論文では自身の経験と運動生理学を基に、「年齢を重ねていく中でフルマラソンを2時間半で走れるメソッド」を解説。「僕と年代の皆さんの役に立ちたい」。修士目前の猫ひろしは力を込めた。

建装工業高橋社長 好タイム

大会特別協賛社・建装工業の高橋修身社長(57)「写真、前列左から5人目」が、ハーフの部を1時間23分24秒の好タイムで完走した。一昨年は左肩腰筋の肉離れ、昨年はトレラン中に鎖骨を骨折して欠場しており、3年ぶりの大会復帰となった。昨年12月の足立フレンドリーハーフマラソンも1時間23分34秒で走り、故障は完治した。もう1年、年を取って現在ではまだ「若さ」の状態。モチモチいっしょに走りたいですね。経験豊富なサプスリランナーは慎重だった。なお、建装工業からは関係者を含めて185人が出場した。

◆10キロの部 上位入賞者◆

▼男子総合

① ジュリー・イーサン	29 分 26 秒
② 渡辺 大地 (スマッシュ)	30 : 02
③ 大橋 正典 (駿河台大)	30 : 16

▼女子総合

① 金子 夢	35 分 55 秒
② 松本 恭子 (千葉陸協)	37 : 09
③ 小泉 翔奈 (よよよ健)	37 : 23

プレミアムランナー 専用エリア人気

〇…暖房付きの控室にトイレや荷物置き場が設置され、スタート時間までストレスなく過ごせる専用エリア「プレミアムランナー」=写真=が人気だ。通常の参加費(ハーフ7300円、10キロ5500円=ともに税込)より1万円割高だが、焼きおにぎりや豚汁、とろろ汁、ビッグメンチカツ、甘酒などのフード・ドリンク類が好評だった。



SDGsを推進

【大会の取り組み】
▼SDGs (持続可能な開発目標) 原材料のニッケル開発に伴う環境汚染被害を軽減するため、安全ピンの発送廃止。二酸化炭素排出量の削減に向け、完走証をWEB発行としてペーパーレス化を実現するなど、国

際社会の取り組みを推進。
▼WRK公認大会 昨年11月、WA (ワールドアスレティックス) が定めるWRK (ワールドランギングコンペティション) の指定競技会に。ワールドランギングと世界大会の参加資格など、WAによる記録集計の対象となり、より世界に開かれた大会となった。

完走しました

國分唯史(48)「1時間18分44秒」新年のお祝いをしたくて3度目の出場。25日の勝田で2時間50分切りを目指したい。
脇藤博幸(47)「1時間22分1秒」風はあっても暖かく後半は走りやすかった。ベストを2分更新したから赤羽で打ち上げだね。
宇野佳明(42)「1時間27分39秒」セカンドベストが出せた。今月の勝田で3時間20分、3月の東京でサブスリーを狙いたい。
石井克彦(62)「1時間31分7秒」前半は向かい風で人の後ろに待機。後半は追い風、日差しも出て暑くなって頭に水をかけた。
須藤智美(43)「1時間31分52秒」最後の2キロで左足がつかったが80点レース。これからラン仲間30人と新年会をします。
尾田みどり(54)「1時間38分47秒」正月に走り過ぎて左の外反母趾が痛かった。目標の40分が切れたから及第点かなあ。
湯浅茂(46)「1時間41分12秒」一年年始のビルドアップ20キロ走末段でベスト記録。1キロ4分50秒のイーブンペースで走れた。
寺島まきよ(62)「1時間57分14秒」こころは初参加。すれ違った大学生ランナーは体がしっくりかしてました(敬称略)